

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもの城ほんじょう		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 21日		～ 令和7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～ 令和7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族で体験できない事を他の児童と通じて実施できております。また、家族に活動の報告することで共有しております。	ご家族にはより児童の活動の様子をご覧になっていただけるようInstagramを利用して報告しております。	活動がマンネリ化しないよう様々な事に挑戦したいと考え、昨年は初めての試みバーベキューを実施しました。児童から好評でした。今後も続けていきたいと思ひます。
2	最大限、家族のニーズにお応えできるよう対応をめざしております。ご利用、支援のあり方など保護者から意見をいただけております。	保護者に児童の活動をご覧になっていただきたいと考え、イベントを企画しております。今年の2/23にイベントを実施しました。	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童が他の事業所との交流がありません。コロナ禍の状況もありました。他の事業所様も望まれていないようで実施が難しく感じております。	職員が多く揃っていない事にあります。様々な事に挑戦したいですが、万全でなければしてはいけないと考えています。	八幡西区にある市民センターで他の事業所と職員間で交流する機会があります。そこでは児童の活動の報告や運営についての報告会。学び場としております。こうした会をきっかけに児童の交流もすすめればと思ひます
2	保護者会、父母の会といった事を実施しておりません。イベントを通じてこうした機会を狙っておりますが、なかなかうまくいかないです。	もっと気軽に参加できるものである。保護者の興味をひく内容が問われていると考えます。	これまで障害支援に関わる方をお迎えしてお話し会、成年後見制度について講師の方をお迎えして保護者会を実施しました。継続することが周知につながるものと考えております。
3			